

改 正 後	現 行
農業土木工事施工管理基準 <u>(平成26年8月)</u> 長崎県農林部農村整備課	農業土木工事施工管理基準 <u>(平成25年8月)</u> 長崎県農林部農村整備課

農業土木工事施工管理基準 平成26年度改正 新旧対照表

(下線の部分は改正部分)

改正後

農業土木工事施工管理基準

第1 目 的 ～ 第3 施工管理の基本構成 [略]

第4 施工管理の実施

1・2 [略]

3 施工管理の実施と提出内容

施工管理は、契約工期、工事目的物の出来形及び品質規格の確保が図られるよう、工事の進
行に並行して、速やかに実施し、測定(試験)等の結果をその都度管理図表等に記録し、適切
な管理のもとに保管し、監督職員の請求に対し速やかに提示するとともに、工事完成時に提出
しなければならない。

[以下略]

4～6 [略]

第5 [略]

別表第1 直接測定による出来形管理

1 共通工事 掘削・盛土 [略]

工事通井	工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参考) 規格値(mm)	測定基準
1	石積み	[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
	石張り	[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
	コンクリート ブロック張り	[略]			[略]
		[略]			
	河川護岸 [は除く]	[略]	[略]		

現 行

農業土木工事施工管理基準

第1 目 的 ～ 第3 施工管理の基本構成 [略]

第4 施工管理の実施

1・2 [略]

3 施工管理の実施と提出内容

施工管理は、契約工期、工事目的物の出来形及び品質規格の確保が図られるよう、工事の進
行に並行して、速やかに実施し、その結果を監督職員に提出し、承認を受けるものとする。
[以下略]

4～6 [略]

第5 [略]

別表第1 直接測定による出来形管理

1 共通工事 掘削・盛土 [略]

工事通井	工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参考) 規格値(mm)	測定基準
1	石積み	[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
	石張り	[略]	[略]	[略]	
		[略]			
	コンクリート ブロック張り	[略]			[略]
		[略]			
	河川護岸 [は除く]	[略]	[略]		

基礎杭打工	[略]	[略]	[略]	[略]
木杭				
プレキャスト コンクリート 杭	[略]	[略]	[略]	
鋼管杭				
場所打杭				
深礎杭				

管理方式			測定箇所標準図	摘要
[略]	[略]	[略]		
[略]	[略]	[略]	[略]	基礎コンクリートはコンクリート基礎を適用する。 法長の1%とは、山と谷の差の絶対値をいう。
—	[略]	—	[略]	[略]

矢板打工 ～ オープンケーソン [略]

工事通共1	工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参考)規格値(mm)	測定基準
	栗石基礎	[略]	[略]	[略]	[略]
	砕石基礎	[略]	[略]	[略]	
	砂基礎	[略]	[略]	[略]	
	均しコンクリート				

基礎杭打工	[略]	[略]	[略]	[略]
木杭				
既製コンクリート杭	[略]	[略]	[略]	
鋼管杭				
場所打杭				
深礎杭				

管理方式			測定箇所標準図	摘要
[略]	[略]	[略]		
[略]	[略]	[略]	[略]	基礎コンクリートは91コンクリート基礎を適用する。 法長の1%とは、山と谷の差の絶対値をいう。
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

矢板打工 ～ オープンケーソン [略]

工事通共1	工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参考)規格値(mm)	測定基準
	栗石基礎	[略]	[略]	[略]	[略]
	砕石基礎	[略]	[略]	[略]	
	砂基礎	[略]	[略]	[略]	
	均しコンクリート				

管理方式		測定箇所標準図	摘要
[略]	[略]		
[略]	[略]	[略]	幅(B)の()は砂基礎及びコンクリートの場合。 厚さ(T)の()は、均しコンクリートの場合であり、管水路工事の管体基礎工(砂基礎等)による。

コンクリート付帯構造物 ～ 土水路 [略]

工 通 共 1	工 種 鉄筋組立	項 目	管理基準値(mm)	(参考) 規格値(mm)	測定基準
		[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]	[略]	[略]

管理方式		測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式2-1、2-2)	結果一覧表によるもの (様式3-6)		
[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]

2 ほ場整備工事 ～ 5 水路トンネル工事 [略]

管理方式		測定箇所標準図	摘要
[略]	[略]		
[略]	[略]	[略]	10幅(B)の()は砂基礎及びコンクリートの場合。 20厚さ(T)の()は、均しコンクリートの場合であり、管水路の基礎は「8管水路工事(砂基礎等)」による。

コンクリート付帯構造物 ～ 土水路 [略]

工 通 共 1	工 種 鉄筋組立	項 目	管理基準値(mm)	(参考) 規格値(mm)	測定基準
		[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]	[略]	[略]

管理方式		測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式2-1、2-2)	結果一覧表によるもの (様式3-7)		
[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]

2 ほ場整備工事 ～ 5 水路トンネル工事 [略]

工事種別	工 種	項 目	管理基準値 (mm)	(参考) 規格値 (mm)	測定基準
事業 水路 6	現場打開水路	[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
	現場打サイホン	[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
	現場打暗渠	[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	

管理方式			測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式 2-1、2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
基準高、幅、厚さ、高さ、中心線のズレ以上 <u>スパン長</u> で20点以上のもの	[略]	[略]	[略]	[略]
基準高、幅、厚さ、高さ、中心線のズレ以上 <u>スパン長</u> で20点以上のもの	[略]	[略]	[略]	[略]
基準高、幅、厚さ、高さ、中心線のズレ以上 <u>スパン長</u> で20点以上のもの	[略]	[略]	[略]	[略]

工事種別	工 種	項 目	管理基準値 (mm)	(参考) 規格値 (mm)	測定基準
事業 水路 6	現場打開水路	[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
	現場打サイホン	[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
	現場打暗渠	[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	

管理方式			測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式 2-1、2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
基準高、幅、厚さ、高さ、中心線のズレで20点以上のもの	[略]	[略]	[略]	[略]
基準高、幅、厚さ、高さ、中心線のズレで20点以上のもの	[略]	[略]	[略]	[略]
基準高、幅、厚さ、高さ、中心線のズレで20点以上のもの	[略]	[略]	[略]	[略]

鉄筋コンクリート大型フレーム [略]

工事種別	工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参考) 規格値(mm)	測定基準
水路 6	ボックスカルバート水路	[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	

管理方式			測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式 2-1、2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
基準高、中心線のズレで 20 点以上のもの	左記のもので 20 点未満のもの及び施工延長		[略]	

7 河川及び排水路工事 [略]

工事種別	工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参考) 規格値(mm)	測定基準
水路 8	管体基礎工 (砂基礎等)	[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]	[略]	

管理方式			測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式 2-1、2-2、3-4)	結果一覧表によるもの (様式 3-1、3-4)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

管水路 (遠心力鉄筋コンクリート管) [略]

鉄筋コンクリート大型フレーム [略]

工事種別	工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参考) 規格値(mm)	測定基準
水路 6	ボックスカルバート水路	[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	

管理方式			測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式 2-1、2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
[新設]	[新設]		[略]	

7 河川及び排水路工事 [略]

工事種別	工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参考) 規格値(mm)	測定基準
水路 8	管体基礎工 (砂基礎等)	[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]	[略]	

管理方式			測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式 2-1、2-2、3-4、3-6)	結果一覧表によるもの (様式 3-1、3-4、3-6)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

管水路 (遠心力鉄筋コンクリート管) [略]

工路水管	工 種	項 目	管理基準値 (mm)	(参考) 規格値 (mm)	測定基準
管 8	管水路 (ダクタイル鋳鉄管) K形 T形 U形	[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	

管理方式			測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2、3-4)	結果一覧表によるもの (様式 3-1、 3-4)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

工路水管	工 種	項 目	管理基準値 (mm)	(参考) 規格値 (mm)	測定基準
管 8	管水路 (硬質ポリ塩化ビニル管)	[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	

管理方式			測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

管水路 (鋼管) ～ ジョイントコート [略]

工路水管	工 種	項 目	管理基準値 (mm)	(参考) 規格値 (mm)	測定基準
管 8	管水路 (ダクタイル鋳鉄管) K形 T形 U形	[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	

管理方式			測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2、3-4、3-6)	結果一覧表によるもの (様式 3-1、 3-4、3-6)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

工路水管	工 種	項 目	管理基準値 (mm)	(参考) 規格値 (mm)	測定基準
管 8	管水路 (硬質ポリ塩化ビニル管)	[略]	[略]	[略]	[略]
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	
		[略]	[略]	[略]	

管理方式			測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2、3-4、3-6)	結果一覧表によるもの (様式 3-1、 3-4、3-6)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

管水路 (鋼管) ～ ジョイントコート [略]

工事

工 種	項 目	管理基準値 (mm)	(参考) 規格値 (mm)	測定基準
管水路 管 8	管水路 (埋設とう性管)	[略]		
	ダクタイル鋳鉄管	[略]	[略]	[略]
	鋼管	[略]	[略]	[略]
	強化プラスチック管	[略]	[略]	[略]
	たわみ率	[略]	[略]	[略]

管理方式			測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式 3-5)	結果一覧表によるもの (様式 3-5)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

工事

工 種	項 目	管理基準値 (mm)	(参考) 規格値 (mm)	測定基準
管水路 管 8	シールド工事 (一次覆工)	[略]	[略]	[略]
	コンクリートセグメント	[略]	[略]	[略]
	鋼製セグメント	[略]	[略]	[略]
	シールド工事 (二次覆工)	⊕ 20 (⊕30)	⊕ 30 (⊕50)	[略]
	既製管覆工	[略]	[略]	[略]
推進工事	基準高(V)	⊕ 20 (⊕30)	⊕ 30 (⊕50)	[略]
	中心線のズレ(e)	[略]	[略]	[略]
	ジョイント間隔(z)	[略]	[略]	[略]
	施工延長	[略]	[略]	[略]
たわみ率	たわみ率	[略]	[略]	[略]

管理方式			測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2、3-4、3-5)	結果一覧表によるもの (様式 3-1、 3-4、3-5)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

工事

工 種	項 目	管理基準値 (mm)	(参考) 規格値 (mm)	測定基準
管水路 管 8	管水路 (埋設とう性管)	[略]		
	ダクタイル鋳鉄管	[略]	[略]	[略]
	鋼管	[略]	[略]	[略]
	強化プラスチック管	[略]	[略]	[略]
	たわみ率	[略]	[略]	[略]

管理方式			測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2、3-5)	結果一覧表によるもの (様式 3-1、 3-5)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

工事

工 種	項 目	管理基準値 (mm)	(参考) 規格値 (mm)	測定基準
管水路 管 8	シールド工事 (一次覆工)	[略]	[略]	[略]
	コンクリートセグメント	[略]	[略]	[略]
	鋼製セグメント	[略]	[略]	[略]
	シールド工事 (二次覆工)	⊕ 20 (⊕30)	⊕ 30 (⊕50)	[略]
	既製管覆工	[略]	[略]	[略]
推進工事	基準高(V)	⊕ 20 (⊕30)	⊕ 30 (⊕50)	[略]
	中心線のズレ(e)	[略]	[略]	[略]
	ジョイント間隔(z)	[略]	[略]	[略]
	施工延長	[略]	[略]	[略]
たわみ率	たわみ率	[略]	[略]	[略]

管理方式			測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2、3-4、3-6)	結果一覧表によるもの (様式 3-1、 3-4、3-6)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参考) 規格値(mm)	測定基準
11 橋梁下部工事	橋台工			
	式幅 (B)	[略]	[略]	[略]
	控壁の厚 さ (T)	[略]	[略]	
	高さ (H)	[略]	[略]	
	中心線の ズレ (e)	[略]	[略]	
	天端長 (L ₁)	[略]	[略]	
	敷長 (L ₂)	[略]	[略]	
	胸壁間距 離 (L ₃)	[略]	[略]	
	橋台各部	「1 共通工事の <u>値 度を要するもの</u> 」の 項に定めるところ による	[略]	[略]

工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参考) 規格値(mm)	測定基準
11 橋台工 橋梁下部工事	式幅 (B)	[略]	[略]	[略]
	控壁の厚 さ (T)	[略]	[略]	
	高さ (H)	[略]	[略]	
	中心線の ズレ (e)	[略]	[略]	
	天端長 (L ₁)	[略]	[略]	
	敷長 (L ₂)	[略]	[略]	
	胸壁間距 離 (L ₃)	[略]	[略]	
	橋台各部	「1 共通工事の100 精度を要するもの」 の項に定めるとこ ろによる	[略]	[略]

管 理 方 式

管理図表によるもの (様式2-1、 2-2)	結果一覧表に よるもの (様式3-1) もの	構造図に朱 記、併記する もの	測定箇所標準図	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	2スパン以上の場 合の胸壁間距離 は「 <u>橋脚工</u> 」の橋 脚中心間距離に おいて管理する。
[略]	[略]	[略]	[略]	

橋脚工 [略]

管 理 方 式

管理図表によるもの (様式2-1、 2-2)	結果一覧表に よるもの (様式3-1) もの	構造図に朱 記、併記する もの	測定箇所標準図	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	2スパン以上の場 合の胸壁間距離 は「 <u>20 及び 30 橋 脚工</u> 」の橋脚中心 間距離において 管理する。
[略]	[略]	[略]	[略]	

橋脚工 [略]

工 種	項 目	管理基準値 (mm)	(参考) 規格値 (mm)	測定基準
17 堤体工 ため池 改修工事	[略]	[略]	[略]	[略]
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	
洪水吐土工	[略]	[略]	[略]	[略]
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	

管 理 方 式			測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式 2-1、2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	左記のもので20点未満のもの及び施工延長	[略]	[略]	[略]
基準高、幅、厚さ、高さ、中心線のズレ、スパン長で20点以上のもの	[略]	[略]	[略]	[略]

工 種	項 目	管理基準値 (mm)	(参考) 規格値 (mm)	測定基準
17 樋管工 同上付帯構造物 (土砂吐ゲート等) ため池 改修工事	[略]	[略]	[略]	[略]
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	

工 種	項 目	管理基準値 (mm)	(参考) 規格値 (mm)	測定基準
17 堤体工 ため池 改修工事	[略]	[略]	[略]	[略]
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	
洪水吐土工	[略]	[略]	[略]	[略]
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	

管 理 方 式			測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式 2-1、2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	左記のもので20点未満のもの	[略]	[略]	[略]
基準高、幅、厚さ、高さ、中心線のズレで20点以上のもの	[略]	[略]	[略]	[略]

工 種	項 目	管理基準値 (mm)	(参考) 規格値 (mm)	測定基準
17 樋管工 同上付帯構造物 (土砂吐ゲート等) ため池 改修工事	[略]	[略]	[略]	[略]
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	
	[略]	[略]	[略]	

管 理 方 式		測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2、3-4)	結果一覧表によるもの (様式 3-1、 3-4)		
[略]	左記のもので 20 点未満のもの の及び施工延 長	[略]	1 基準高 (V) は管底を 原則とする。 2 プレキャストコン クリート製品使用の場合 である。 3 底面がトンネルの場 合は、土木工事施工管 理基準 5 水路トンネル 工事の水路トンネルに 準ずる。 4 斜樋等付帯構造物は 土木工事施工管理基準 1 共通工事のコンクリ ート付帯構造物に準ず る。ただし、基準高 (V) は、取水孔 (ゲートの中 心) の標高とし、高さ (H) は斜面直角方向と する。

別表ア 基礎杭打ち 偏心管理基準値

(単位: mm)			
杭 径	木 杭		プレキャストコンクリート杭 (参考)
	管理基準値	規格値	管理基準値
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]

管 理 方 式		測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)		
[略]	左記のもので 20 点未満のもの の及び施工延 長	[略]	1 基準高 (V) は管底を 原則とする。 2 コンクリート二次製 品使用の場合である。 3 底面がトンネルの場 合は、土木工事施工管 理基準 5 水路トンネル 工事の 10 水路トンネ ルに準ずる。 4 斜樋等付帯構造物は 土木工事施工管理基 準 1 共通工事の 90 コ ンクリート付帯構造 物に準ずる。ただし、 基準高 (V) は、取水 孔 (ゲートの中心) の 標高とし、高さ (H) は斜面直角方向とす る。

別表ア 基礎杭打ち 偏心管理基準値

(単位: mm)			
杭 径	木 杭		既製コンクリート杭 (参考)
	管理基準値	規格値	管理基準値
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]

杭 径	鋼 管 杭		場 所 打 杭
	管理基準値	(参 考) 規 格 値	
[略]			
[略]			
[略]	[略]	[略]	
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]			[略]

杭 径	鋼 管 杭		場 所 打 杭
	管理基準値	(参 考) 規 格 値	
[略]			
[略]			
[略]	[略]	[略]	
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]			[略]

別表イ 管水路 (鉄心力鉄筋コンクリート管) のジョイント間隔管理基準値

(単位: mm)

呼び径 (mm)		[削る。]	管理基準値	(参 考)		規 格 値	JIS A 5372 RC管 (B形管)		JIS A 5372 RC管 (NR形管)	
				8 管水路工事 良質地盤	8 管水路工事 軟弱地盤			管理基準値	(参 考) 規格値	
150	[削る。]	+13	+20	+11	+15	+23	0	+15	+23	0
200	[削る。]	+13	+20	+11	+15	+23	0	+15	+23	0
250	[削る。]	+12	+20	+10	+15	+23	0	+15	+23	0
300	[削る。]	+12	+18	+10	+15	+23	0	+15	+23	0
350	[削る。]	+12	+18	+10	+15	+23	0	+15	+23	0
400	[削る。]	+14	+21	+11	+19	+29	0	+19	+29	0
450	[削る。]	+14	+21	+11	+19	+29	0	+19	+29	0
500	[削る。]	+14	+21	+11	+19	+29	0	+19	+29	0
600	[削る。]	+15	+23	+13	+19	+29	0	+19	+29	0
700	[削る。]	+14	+21	+12	+19	+29	0	+19	+29	0
800	[削る。]	+16	+24	+13	+19	+29	0	+19	+29	0
900	[削る。]	+17	+26	+15	+19	+29	0	+19	+29	0
1,000	[削る。]	+21	+32	+18	+19	+29	0	+19	+29	0
1,100	[削る。]	+22	+33	+19	+19	+29	0	+19	+29	0
1,200	[削る。]	+23	+35	+21	+19	+29	0	+19	+29	0
1,350	[削る。]	+24	+37	+22	0	0	0	0	0	0
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。									

注) 1. ~ 3. [略]

4. 標準値は日地処理のため施工に必要な、本来開くべきジョイント間隔値を示している。規格値及び管理基準値は下図に示す位置を測定するものとする。

5. 管の外面から測定する場合の測定位置は、施工管理記録様式に示す a' b' c' d' とする。

別表イ 管水路 (コンクリート二次製品) のジョイント間隔管理基準値

(単位: mm)

呼び径 (mm)	JIS A 5372 RC管				[新設]			
	標準値	管理基準値	(参 考)		8 管水路工事 良質地盤	8 管水路工事 軟弱地盤	[新設]	[新設]
			8 管水路工事 良質地盤	8 管水路工事 軟弱地盤				
150	5	+2	+10	+5	+6	+6	[新設]	[新設]
200	5	+2	+10	+5	+6	+6	[新設]	[新設]
250	5	+2	+10	+5	+6	+6	[新設]	[新設]
300	5	+2	+9	+4	+6	+6	[新設]	[新設]
350	5	+2	+9	+4	+6	+6	[新設]	[新設]
400	8	+2	+9	+3	+8	+8	[新設]	[新設]
450	8	+2	+9	+3	+8	+8	[新設]	[新設]
500	8	+2	+9	+3	+8	+8	[新設]	[新設]
600	8	+3	+12	+5	+8	+8	[新設]	[新設]
700	8	+3	+10	+4	+8	+8	[新設]	[新設]
800	8	+3	+12	+5	+8	+8	[新設]	[新設]
900	8	+3	+15	+7	+8	+8	[新設]	[新設]
1,000	10	+4	+18	+10	+8	+8	[新設]	[新設]
1,100	10	+4	+19	+10	+9	+9	[新設]	[新設]
1,200	10	+4	+21	+11	+10	+10	[新設]	[新設]
1,350	10	+4	+23	+12	+10	+10	[新設]	[新設]
1,500	8	+4	+15	+7	+8	+8	[新設]	[新設]
1,650	8	+4	+15	+7	+8	+8	[新設]	[新設]
1,800	8	+4	+15	+7	+8	+8	[新設]	[新設]
2,000	8	+4	+15	+7	+8	+8	[新設]	[新設]
2,200	8	+4	+15	+7	+8	+8	[新設]	[新設]
2,400	10	+4	+15	+7	+10	+10	[新設]	[新設]
2,600	10	+4	+15	+7	+10	+10	[新設]	[新設]
2,800	10	+4	+15	+7	+10	+10	[新設]	[新設]
3,000	10	+4	+15	+7	+10	+10	[新設]	[新設]

注) 1. ~ 3. [略]

[新設]

[新設]

【新設】

〔参考〕ジョイント間隔測定位置を以下に示す。

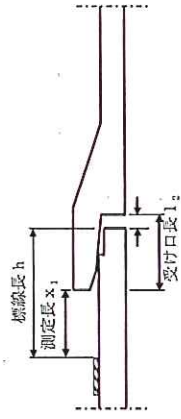
(1)内面から計測する場合。
B型及びNB型

NC型



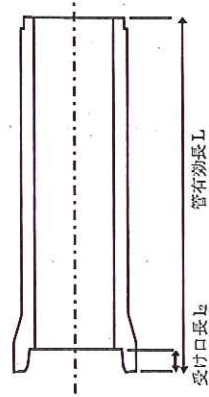
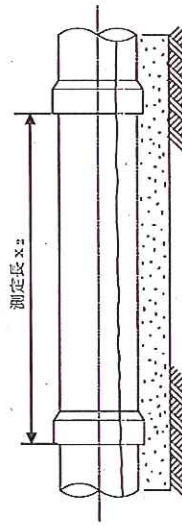
(2)外面から計測する場合

1)標線による計測
ジョイント間隔＝受け口長 l_0 －(標線長 h －測定長 x_1)



2)標線によらない計測 (参考)

ジョイント間隔＝受け口長 l_0 －(管有効長 L －測定長 x_2)



JIS A 5372 RC管 (NC形管)				
呼び径 (mm)	標準値	管理基準値	(参 考)	規 格 値
1,500	15	+24 +5	+33 +5	+5
1,650	15	+24 +5	+33 +5	+5
1,800	15	+24 +5	+33 +5	+5
2,000	15	+24 +5	+33 +5	+5
2,200	15	+24 +5	+33 +5	+5
2,400	15	+27 +5	+38 +5	+5
2,600	15	+27 +5	+38 +5	+5
2,800	15	+27 +5	+38 +5	+5
3,000	15	+27 +5	+38 +5	+5

JIS A 5372 RC管 (スベーサー用ゴムを添付)				
呼び径 (mm)	標準値	管理基準値	(参 考)	
			8管水路工事 良質地盤	8管水路工事 軟弱地盤
150	10	10	10	10
200	10	10	10	10
250	10	10	10	10
300	10	10	10	10
350	10	10	10	10
400	10	10	10	10
450	10	10	10	10
500	10	10	10	10
600	10	10	10	10
700	10	10	10	10
800	10	10	10	10
900	10	10	10	10
1,000	10	10	10	10
1,100	10	10	10	10
1,200	10	10	10	10
1,350	10	10	10	10
1,500	10	10	10	10
1,650	10	10	10	10
1,800	10	10	10	10
2,000	10	10	10	10
2,200	10	10	10	10
2,400	10	10	10	10
2,600	10	10	10	10
2,800	10	10	10	10
3,000	10	10	10	10

別表ウ 管水路 (ダクタイル鋳鉄管) ジョイント間隔管理基準値

(単位: mm)		
規 格	JIS G 5526・5527 及び JDA G 1027	JIS G 5526・5527 及び JDA G 1027・1029
	8 管水路工事 K 形	8 管水路工事 T 形 (直管)
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]

(単位: mm)		
規 格	JIS G 5526・5527 及び JDA G 1027・1029	JIS G 5526・5527 及び JDA G 1029
	8 管水路工事 T 形 (異形管)	8 管水路工事 U 形
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]

注) 1. ～3. [略]

4. 管の外周から測定する場合の測定位置は、施工管理記録様式に示す a、b、c、d とする。

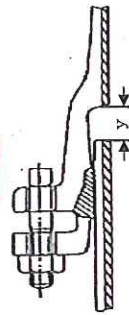
5. ダクタイル鋳鉄管のうち、K 形管・T 形管のジョイント間隔測定位置及び U 形管の標準値は下図の y 寸法である。y の測定位置は、鋳鉄管とモルタルラニング間の境界部を目安とする。

6. ・7. [略]

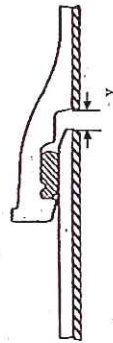
8. 標準値は継手構造上、本来開くべきジョイント間隔値を示しており、規格値及び管理基準値は標準値に対する値を示している。

U 形管図 [略]

K 形管



T 形管



別表ウ 管水路 (ダクタイル鋳鉄管) ジョイント間隔管理基準値

(単位: mm)		
規 格	JIS G 5526・5527 及び JDA G 1027	JIS G 5526・5527 及び JDA G 1027・1029
	8 管水路工事 K 形	8 管水路工事 T 形 (直管)
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]

(単位: mm)		
規 格	JIS G 5526・5527 及び JDA G 1027・1029	JIS G 5526・5527 及び JDA G 1029
	8 管水路工事 T 形 (異形管)	8 管水路工事 U 形
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]

注) 1. ～3. [略]

[新設]

4. ダクタイル鋳鉄管のうち U 形管の標準値は下図の y 寸法である。

5. ・6. [略]

[新設]

U 形管図 [略]

[新設]

別紙エ 管水路 (強化プラスチック複合管) ジョイント間隔管理基準値

JIS A 5350			
規格		B形及びT形	
呼び径 (mm)	標準値	管理基準値	(参考) 規格値
[略]	[略]	良質地盤	収弱地盤
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]

JIS A 5350			
規格		C形	
呼び径 (mm)	標準値	管理基準値	(参考) 規格値
[略]	[略]	良質地盤	収弱地盤
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]

JIS A 5350			
規格		C形	
呼び径 (mm)	標準値	管理基準値	(参考) 規格値
[略]	[略]	良質地盤	収弱地盤
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]

注) 1. ～ 3. [略]
4. 管の外周から測定する場合の測定位置は、施工管理記録様式に示すa' b' c' d' とする。
5. ～ 6. [略]

別紙オ・別紙カ [略]

別紙エ 管水路 (強化プラスチック複合管) ジョイント間隔管理基準値

JIS A 5350			
規格		B形及びT形	
呼び径 (mm)	標準値	管理基準値	(参考) 規格値
[略]	[略]	良質地盤	収弱地盤
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]

JIS A 5350			
規格		C形	
呼び径 (mm)	標準値	管理基準値	(参考) 規格値
[略]	[略]	良質地盤	収弱地盤
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]

JIS A 5350			
規格		C形	
呼び径 (mm)	標準値	管理基準値	(参考) 規格値
[略]	[略]	良質地盤	収弱地盤
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]

注) 1. ～ 3. [略]
[新設]
4. ～ 5. [略]

別紙オ・別紙カ [略]

別表第2 撮影記録による出来形管理

工事通共	工 種	撮影基準	撮影箇所
事 工 通 共	1. 一般	[略]	
	2. 掘削	[略]	[略]
	3. 盛土	[略]	[略]
	4. 石積み (張) ブロック積み (張)	[略]	[略]
	5. 基礎杭打工	[略]	[略]
	6. 矢板打工	[略]	[略]
	7. オープンケーソン [削る。]	[削る。]	[削る。]
	8. 栗石基礎 砕石基礎 砂基礎 均しコンクリート	[略]	[略]
	9. コンクリート付帯構 造物	[略]	[略]
	10. コンクリート付帯構 造物 コンクリート基礎、 側溝、管渠、根断構 造物、コンクリート 擁壁その他上記に準 ずるもの	[略]	[略]
	11. U字溝 U字フリューム ベンチフリューム	[略]	[略]
	12. 土水路	[略]	[略]
	13. 鉄筋組立	[略]	[略]

撮影方法	管理方法
1.・2. [略] 3. 写真はカラー撮影とする。なお、写真ファイルの記録形式は JPEG とし、有効画素数は、 黒板の文字が確認できることを指標 (100 万画素程度) とする。	1.・2. [略]
4. [略]	

別表第2 撮影記録による出来形管理

工事通共	工 種	撮影基準	撮影箇所
事 工 通 共	1. 一般	[略]	
	2. 掘削	[略]	[略]
	3. 盛土	[略]	[略]
	4. 石積み (張) ブロック積み (張)	[略]	[略]
	5. 基礎杭打工	[略]	[略]
	6. 矢板打工	[略]	[略]
	7. オープンケーソン	[略]	[略]
	8. コンクリート吹付 モルタル吹付	施工面積おおむね 200～400㎡ につき 1 箇所の割合で撮影す る。 上記未満は 2 箇所撮影する。	法面状況、法勾配、法長、屋さ、 ラス板、アンカー打込み、その他 必要箇所を撮影する。
	9. 栗石基礎 砕石基礎 砂基礎 均しコンクリート	[略]	[略]
	10. コンクリート付帯構 造物	[略]	[略]
	11. コンクリート付帯構 造物 コンクリート基礎、 側溝、管渠、根断構 造物、コンクリート 擁壁その他上記に準 ずるもの	[略]	[略]
	12. U字溝 U字フリューム ベンチフリューム	[略]	[略]
	13. 土水路	[略]	[略]
	14. 鉄筋組立	[略]	[略]

撮影方法	管理方法
1.・2. [略] 3. 写真は原則としてカラー撮影とし大きさは、 11.7cm×8cmを標準とする。	1.・2. [略]
4. [略]	

2 ほ場整備工事 ～ 11 橋梁下部工事 [略]

工 種		撮影基準	撮影箇所
12	1. 法面保護工	客土吹付、植生基材吹付、コンクリート吹付、モルタル吹付は、施工面積おおむね 200～400 m ² につき 1 箇所、その他は 1,000 m ² につき 1 箇所を撮影する。 上記未滿は 2 箇所撮影する。	法面状況、法面滑損、法勾配、法長、厚さ、ラス張、植生ネット張、むしろ張、アンカー打込み等必要箇所を撮影する。

13 暗渠排水工事 ～ 17 ため池改修工事 [略]

別表第3 品質管理
1 リンククリート関係

工 種		試験 (測定) 項目	試験方法	試験 (測定) 基準
コン	(1)	材	[略]	[略]
	料		[略]	[略]
			[略]	[略]
			[略]	[略]
			[略]	[略]
			[略]	[略]
			[略]	[略]
			[略]	[略]
			[略]	[略]
			[略]	[略]
			[略]	[略]
			[略]	[略]
	(2)	施工	[略]	[略]
		単位水量測定	1. 水中コンクリート、軽圧コンクリート等の特殊なコンクリートを除き、1 日当たりコンクリート種別毎の使用量が 100m ³ 以上施工するコンクリート工を対象とする。 2. エアメータ法又はこれと同程度、若しくは、その	100m ³ 以上の場合: 2 回/日 (午前 1 回、午後 1 回)、重要なコンクリート構造物の場合: 重要度に応じて 100～150m ³ 毎に 1 回、及び荷卸し時に品質変化が認められたときとし、測定回数は多い方を採用する。 ※対象 (重要なコンクリート構造物) は、高さが 5 m 以上の鉄筋コンクリート構造物 (ブレイキャスト製品は除く。)、内空断面が 25 m ² 以上の鉄筋コンクリートカルパパート類、橋梁上・下部

2 ほ場整備工事 ～ 11 橋梁下部工事 [略]

工 種		撮影基準	撮影箇所
12	1. 法面保護工	客土吹付、植生基材吹付は、施工面積おおむね 200～400 m ² につき 1 箇所、その他は 1,000 m ² につき 1 箇所を撮影する。 上記未滿は 2 箇所撮影する。	法面状況、法面滑損、厚さ、 <u>金網</u> 、植生ネット張、むしろ張、アンカー打込み等必要箇所を撮影する。

13 暗渠排水工事 ～ 17 ため池改修工事 [略]

別表第3 品質管理
1 リンククリート関係

工 種		試験 (測定) 項目	試験方法	試験 (測定) 基準
コン	(1)	材	[略]	[略]
	料		[略]	[略]
			[略]	[略]
			[略]	[略]
			[略]	[略]
			[略]	[略]
			[略]	[略]
			[略]	[略]
			[略]	[略]
			[略]	[略]
			[略]	[略]
			[略]	[略]
	(2)	施工	[略]	[略]
		新設	[新設]	[新設]

		れ以上の精度を有する測定機器を使用するものとし、施工計画書に記載するとともに、事前に機器諸要素、単位水量算定方法を監督職員に提出するものとする。また、使用する機器はキャリブレーションされた機器を使用するものとする。	工（PCは除く。）、トンネル及び高さが3m以上の取・水門・樋門とするが、当該事業において重要なコンクリート構造物と位置付けられる場合は、対象とするものとする。
[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]
圧縮強度試験	JIS A 1108	1. [略] 2. 試験基準 1回/日または構造物の重量度と工事の規模に応じて20～150m3に1回とする。 [以下略]	
[略]	[略]	[略]	[略]

[略]	[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]	[略]
圧縮強度試験	JIS A 1108	1. [略] 2. 試験基準 1回/日または工事の規模に応じて20～150m3に1回とする。 [以下略]	
[略]	[略]	[略]	[略]

(参考) 規 格 値	管 理 方 式	処 置
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
高炉スラグ粗骨材 L 1.25kg/ℓ		
〃 〃 粗骨材 N 1.35kg/ℓ		
〃 〃 細骨材 1.45kg/ℓ		
絶対密度：2.5g/cm3 以上 吸水率：3.5%以下 ただし、砕砂、高炉スラグ細骨材、フェロニッケルスラグ細骨材、銅スラグ細骨材、電気熔酸化スラグ細骨材の規格値については、以下のJISを適用する。		
JISA 5005 (コンクリート用砕石及び砕砂)		
JISA 5011-1 (コンクリート用スラグ骨材-第1部：高炉スラグ骨材)		
JISA 5011-2 (コンクリート用スラグ骨材-第2部：フェロニッケルスラグ骨材)		
JISA 5011-3 (コンクリート用スラグ骨材-第3部：銅スラグ骨材)		

(参考) 規 格 値	管 理 方 式	処 置
[略]	[略]	[略]
[略]	[略]	[略]
高炉スラグ粗骨材 A 1.25kg/ℓ		
〃 〃 粗骨材 B 1.35kg/ℓ		
〃 〃 細骨材 1.45kg/ℓ		
[新設]		

JISA 5011-4 (コンクリート用スラグ骨材-第 4 部: 電気炉酸化スラグ骨材) JISA 5021 (コンクリート用再生骨材 II) 絶対密度: 2.5g/cm³ 以上 吸水率: 3.0% 以下 ただし、砕石、高炉スラグ粗骨材及び電気炉酸化スラグ骨材の規格値については、以下の JIS を適用する。 JIS A 5005 (コンクリート用砕石) JISA 5011-1 (コンクリート用スラグ骨材-第 1 部: 高炉スラグ骨材) JISA 5011-4 (コンクリート用スラグ骨材-第 4 部: 電気炉酸化スラグ骨材) JISA 5021 (コンクリート用再生骨材 II)	[略]	[略]
[略] 1. 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m³ の範囲にある場合はそのまま施工してよい。 2. 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m³ を超え±20kg/m³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示し、その後配合車の生コンは打設する。その後配合設計±15kg/m³ 以内で安定するまで運搬車の 3 台毎に 1 回、単位水量の測定を行う。 3. 配合設計±20kg/m³ の指示値を超える場合は、生コンを打ち込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査し、生コン製造業者に改善を指示しななければならない。その後の全運搬車の測定を行い、配合設計±20kg/m³ 以内に定を確認する。更に、配合設計±15kg/m³ 以内で安定するまで、運搬	[略]	[略]

[新設]	[略]	[略]
[新設]	[略]	[略]

(参考)規格値	管理方式	処置
1. [略]	[略]	[略]
2. <u>飽和度</u> で規定する場合、飽和度は85～95%の範囲とする。		
3. [略]		
[略]		
[略]		
[略]		
[略]		
[略]		
[略]		
[略]		
[略]		
[略]		
[略]		
[略]		
[略]		
工 理		
[略]		
[略]		

(3)粒状調整路盤工（上層路盤工） [略]					
工種	項目	区分	試験（測定）項目	試験方法	試験（測定）基準
道 路 工	石（ホ） レン タ セ	材	[略]	舗装施工便覧	[略]
			[略]	[略]	
			[略]	[略]	
			[略]	[略]	
			[略]	[略]	
			[略]	[略]	
			[略]	[略]	
			[略]	[略]	
			[略]	[略]	
			[略]	[略]	
水路工（インバートしたの盛土） ～ 堤防工			[略]	[略]	[略]
			[略]	[略]	
			[略]	[略]	
			[略]	[略]	

- 3 石材関係 ～ 4 アスファルト関係 [略]
- 5 プレキャストコンクリート製品及び鋼材関係
 (1) プレキャストコンクリート製品関係
 [以下略]
- 6 その他の二次製品 [略]

(参考)規格値		管理方式	処置
		[略]	[略]
1. [略]			
2. <u>和度</u> で規定する場合、飽和度は85～95%の範囲とする。			
3. [略]			
[略]			
[略]			
[略]			
[略]			
[略]			
[略]			
[略]			
[略]			
[略]			
[略]			
[略]			
工 理			
[略]			

(3)粒状調整路盤工（上層路盤工）					
工種	項目	区分	試験（測定）項目	試験方法	試験（測定）基準
道路工	石（ホ）レンタセ	材料	[略]	アスファルト舗装要綱	[略]
			[略]	[略]	
			[略]	[略]	
			[略]	[略]	
			[略]	[略]	
			[略]	[略]	
			[略]	[略]	
			[略]	[略]	
			[略]	[略]	
			[略]	[略]	
水路工	インバートしたの盛土	堤防工	[略]	[略]	[略]
			[略]	[略]	[略]
			[略]	[略]	[略]
			[略]	[略]	[略]

- 3 石材関係 ～ 4 アスファルト関係 [略]
- 5 コンクリート二次製品及び鋼材関係
 (1) コンクリート二次製品関係
 [以下略]
- 6 その他の二次製品 [略]

参考資料	目次
1 管路の通水試験	1
2 杭の打ち止め管理 (参考)	3
3 薬液注入工事に係る施工管理等について	4
4 トンネル (NATM) 観察・計測 (案)	6
5 R I 計器を用いた盛土の締め固め管理要領 (案) について	17
6 突固め方法の種類 (A・B・C・D・E) の適用について	28
7 管更生工法に係る施工管理について	29
8 レディーミクスコンクリート単位水量測定要領 (案)	30

参考資料	目次
1 管路の通水試験	1
2 杭の打ち止め管理 (参考)	3
3 薬液注入工事に係る施工管理等について	4
4 トンネル (NATM) 観察・計測 (案)	6
5 R I 計器を用いた盛土の締め固め管理要領 (案) について	17
6 突固め方法の種類 (A・B・C・D・E) の適用について	28
7 管更生工法に係る施工管理について	29
8 レディーミクスコンクリート単位水量測定要領 (案)	30

1～7 [略]

8 [新設]

1～7 [略]

8 レディーミクスコンクリート単位水量測定要領 (案)

1. 適用範囲

本要領は、レディーミクスコンクリートの単位水量測定について、測定方法及び管理基準値等を規定するものである。
なお、水中コンクリート、転圧コンクリート等の特殊なコンクリートを除き、1日当たりコンクリート種別毎の使用量が100m³以上施工するコンクリート工を対象とする。

2. 測定機器

レディーミクスコンクリートの単位水量測定機器については、エアメータ法かこれと同程度、若しくは、それ以上の精度を有する測定機器を使用することとし、施工計画表に記載させるとともに、事前に機器諸元表、単位水量算定方法を監督職員に提出するものとする。また、使用する機器はキャリブレーションされた機器を使用することとする。

3. 品質の管理

受注者は、施工現場において、打ち込み直前のレディーミクスコンクリートの単位水量を本要領に基づき測定しなければならない。

4. 単位水量の管理記録

受注者は、測定結果をその都度記録 (プリント出力機能がある測定機器を使用した場合、プリント出力) ・保管するとともに測定状況写真を撮影・保管し、監督職員等の請求があった場合は遅滞なく提示するとともに、検査時に提出しなければならない。また、1日のコンクリート打設量は単位水量の管理シートに記載するものとする。

5. 測定頻度

単位水量の測定頻度は、(1)及び(2)による。
(1)2回/日 (午前1回、午後1回)、又は重要なコンクリート構造物では重要度に応じて100～150m³

に1回

(2) 荷重し時に品質の変化が認められたとき
なお、重要なコンクリート構造物とは、高さが5m以上の鉄筋コンクリート擁壁（プレキャスト製品は除く。）、内空断面が25㎡以上の鉄筋コンクリートカルパート類、橋梁上・下部工（PCは除く。）、トンネル及び高さが3m以上の堰・水門・樋門とするが、当該事業において重要なコンクリート構造物と位置づけられる場合は、対象とするものとする。

6. 管理基準値・測定結果と対応

(1) 管理基準値

現場で測定した単位水量の管理基準値は、次のとおりとして扱うものとする。

区分	単位水量 (kg/m ³)
管理値	配合設計±15kg/m ³
指示値	配合設計±20kg/m ³

注) 示方配合の単位水量の上限値は、粗骨材の最大寸法が20～25mmの場合は175kg/m³、40mmの場合は165kg/m³を基本とする。

(2) 測定結果と対応

a 管理値内の場合

測定した単位水量が管理値内の場合は、そのまま打設してよい。

b 管理値を超える、指示値内の場合

測定した単位水量が管理値を超える指示値内の場合は、そのまま施工してよいが、受注者は、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改定の指示をしなければならない。

その後、管理値内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行うこととする。

なお、「管理値内に安定するまで」とは、2回連続して管理値内の値を観測することという。

c 指示値を超える場合

測定した単位水量が指示値を超える場合は、その運搬車は打込まずに持ち帰らせるとともに、受注者は水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改定を指示しなければならない。

その後、単位水量が管理値内になるまで全運搬車の測定を行う。

なお、管理値または指示値を超える場合は1回に限り試験を実施することができる。再試験を実施した場合は2回の測定結果のうち、配合設計との差の絶対値の小さい方の値で評価してよい。

